

熊本県地域医療構想

平成29年3月

熊 本 県

目 次

第1章 基本的事項	1
1 誇るべき「宝」である熊本県の医療提供体制の回復・充実に向けて	1
2 地域医療構想策定の趣旨	1
(1) 地域医療構想の背景	1
(2) 地域医療構想の内容	2
(3) 将来の目指すべき医療提供体制の姿	2
3 構想の策定体制・プロセス	4
(1) 策定体制	4
(2) 策定プロセス	5
第2章 熊本県の現状	7
1 人口の推移・見通し	7
(1) 総人口の推移	7
(2) 高齢者人口・高齢化率の推移	9
(3) 高齢者世帯の推移	10
2 医療・介護資源の現状	11
(1) 医療施設の状況	11
(2) 医療従事者の状況	13
(3) 介護施設の状況	17
(4) 介護従事者の状況	20
第3章 構想区域	21
1 構想区域の設定の考え方・検討経過	21
2 構想区域の設定	25

第4章	将来の医療需要・病床数の推計	27
1	法令に基づく医療需要及び病床数の必要量の推計	27
	(1) 基本的事項	27
	(2) 医療需要の推計方法及び推計結果	27
	(3) 病床数の必要量の推計方法及び推計結果	33
	(4) 居宅等における医療（在宅医療等）の必要量	35
2	熊本県における将来の病床数の独自推計	37
	(1) 基本的な考え方	37
	(2) 推計方法及び推計結果	38
	(3) 推計結果のまとめ	41
3	病床機能報告における報告病床数との比較	42
	(1) 病床機能報告制度	42
	(2) 病床機能報告における報告病床数との比較	43
第5章	構想区域ごとの状況	44
1	熊本・上益城構想区域	44
2	宇城構想区域	62
3	有明構想区域	79
4	鹿本構想区域	96
5	菊池構想区域	113
6	阿蘇構想区域	130
7	八代構想区域	147
8	芦北構想区域	164
9	球磨構想区域	181
10	天草構想区域	198

【全構想区域共通】	
(1) 人口の推移・見通し	
① 総人口の推移	
② 高齢者人口・高齢化率の推移	
(2) 医療・介護資源の現状	
① 医療施設数・病床数	
② 医療従事者数	
③ 介護施設数	
(3) 将来の医療需要・病床数の推計	
① 法令に基づく医療需要及び病床数の必要量の推計	
② 熊本県における将来の病床数の独自推計	
(4) 病床機能報告における報告病床数との比較	
(5) 医療提供体制上の課題	
① 病床の機能の分化及び連携の推進	
② 在宅医療等の充実	
③ 医療従事者・介護従事者の養成・確保	

第6章 将来の目指すべき医療提供体制の実現に向けた施策.....	216
1 病床の機能の分化及び連携の推進	216
(1) 被災施設の復旧・復興への支援	216
(2) 病床の機能の分化及び連携を支える体制・基盤の整備	216
(3) 病床の機能の分化及び連携に取り組む医療機関への支援	217
2 在宅医療等の充実	219
(1) 在宅医療基盤の充実	219
(2) 医療と介護の連携の推進	220
(3) 在宅等住まいの場における看取り等の終末期療養の充実	220
(4) 介護予防や地域リハビリテーション機能の充実	220
(5) 退院支援機能強化のための人材養成の充実	222
(6) 高齢者の自立支援に向けたケアマネジメントの推進	222
(7) 日常的な見守りや生活支援など在宅生活を支える基盤の強化	222
(8) 中山間地域における介護基盤の充実	222
3 医療従事者・介護従事者の養成・確保	223
3-1 医療従事者の養成・確保	223
(1) 人材確保と資質の向上	223
(2) 魅力ある職場づくりの支援	225
3-2 介護従事者の養成・確保	226
(1) 多様な人材の参入促進	226
(2) 介護職員の定着促進	226
(3) 情報共有・国への施策要望	226

第7章 地域医療構想の実現に向けた推進体制.....	227
1 推進体制	227
(1) 地域医療構想調整会議	227
(2) 地域医療構想調整会議での議論の進め方	227
2 関係当事者の役割	229
(1) 県	229
(2) 市町村	230
(3) 医療機関・医療関係団体	230
(4) 介護事業者・介護関係団体	230
(5) 医療保険者	231
(6) 県民	231
3 構想の進行管理	231
 附属資料（検討会議構成員名簿）	 232
1 熊本県地域医療構想検討専門委員会	232
2 熊本地域医療構想検討専門部会	233
3 宇城地域医療構想検討専門部会	234
4 有明地域医療構想検討専門部会	235
5 鹿本地域医療構想検討専門部会	236
6 菊池地域医療構想検討専門部会	237
7 阿蘇地域医療構想検討専門部会	238
8 上益城地域医療構想検討専門部会	239
9 八代地域医療構想検討専門部会	240
10 芦北地域医療構想検討専門部会	241
11 球磨地域医療構想検討専門部会	242
12 天草地域医療構想検討専門部会	243

図表一覧

章	図表番号	図表タイトル	掲載頁	
第1章	図表1	熊本県における地域医療構想の検討体制	4	
	図表2	熊本県における地域医療構想の策定プロセス	5	
第2章	図表3	総人口の推移・将来推計(熊本県・全国)	7	
	図表4	熊本県の総人口の長期推計と将来展望	8	
	図表5	熊本県の高齢者人口及び高齢化率	9	
	図表6	熊本県の高齢者世帯数の将来推計	10	
	図表7	熊本県内の医療施設数・病床数(一般病床+療養病床)	11	
	図表8	熊本県内の在宅医療関係施設の状況	12	
	図表9	熊本県内の医師数(実数・県内シェア・人口10万対)	13	
	図表10	熊本県内の人口10万人当たりの医師数の推移(2000年→2014年)	13	
	図表11	熊本県内の歯科医師数(実数・県内シェア・人口10万対)	14	
	図表12	熊本県内の薬剤師数(実数・県内シェア・人口10万対)	14	
	図表13	熊本県内の看護職員数(保健師・助産師・看護師・准看護師)	15	
	図表14	熊本県内の医療施設に従事するその他の主な医療スタッフ数(常勤換算)	16	
	図表15	熊本県内の介護保険施設、グループホーム、特定施設、地域密着型特定施設の整備状況	17	
	図表16	熊本県内の養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅の整備状況	18	
	図表17	主な介護サービス見込み量の推計(県全域)	19	
	図表18	2025年に向けた介護人材にかかる需給推計	20	
	第3章	図表19	2025年における推計人口及び医療需要推計に基づく流出率・流入率	23
		図表20	2025年医療需要推計に基づく流出状況(急性期・回復期・慢性期機能合計)	23
図表21		構想区域(案)	24	
図表22		構想区域	25	
図表23		2025年医療需要推計に基づく流出状況(高度急性期機能)	26	
第4章	図表24	病床の機能別分類の境界点の考え方	27	
	図表25	慢性期及び在宅医療等の医療需要推計のイメージ	28	
	図表26	療養病床の入院受療率の地域差解消のパターン	28	
	図表27	医療需要の推計結果(県全域・医療機関所在地ベース)	29	
	図表28	2025年の構想区域ごとの医療需要推計結果	29	
	図表29	主な疾病別の医療需要推計(医療機関所在地ベース)	30	
	図表30	2025年における患者の流出入表	31	
	図表31	病床数の必要量の算定式	33	
	図表32	病床数の必要量の推計結果(県全域)	33	
	図表33	病床数の必要量の推計結果(構想区域別)	33	
	図表34	居宅等における医療(在宅医療等)の必要量(構想区域別)	35	
	図表35	慢性期の医療・介護ニーズへ対応するための「新たな施設類型」	35	
	図表36	構想区域別の推計Ⅰによる県独自病床数推計	38	
	図表37	構想区域別の許可病床数の推移	39	
	図表38	病床種別の許可病床数の推移	39	
	図表39	県全域の過去7年間の推移に基づく2025年病床数推計	40	
	図表40	構想区域別の推計Ⅱによる県独自病床数推計	40	
	図表41	構想区域別の推計Ⅲによる県独自病床数推計	40	
	図表42	県全域の県独自病床数推計の結果	41	
	図表43	病床機能報告における4つの医療機能	42	
	図表44	病床数の必要量・県独自病床数推計と2015年度病床機能報告の報告病床数の比較	43	

章	図表番号	図表タイトル	掲載頁									
			熊本 ・上益城	宇城	有明	鹿本	菊池	阿蘇	八代	芦北	球磨	天草
第5章	図表45	各構想区域の人口の見通し (2010年→2040年)	44	62	79	96	113	130	147	164	181	198
	図表46	各構想区域の高齢者人口及び高齢化率 (2010年→2040年)	44	62	79	96	113	130	147	164	181	198
	図表47	各構想区域の医療施設数及び病床数の 県全域・全国平均との比較	46	64	81	98	115	132	149	166	183	200
	図表48	各構想区域の在宅医療関係施設数の 県全域との比較	47	65	82	99	116	133	150	167	184	201
	図表49	各構想区域の医師数・歯科医師数・薬剤師数 の県全域・全国平均との比較	48	66	83	100	117	134	151	168	185	202
	図表50	各構想区域の看護職員数の県全域・全国平均 との比較	49	67	84	101	118	135	152	169	186	203
	図表51	各構想区域の医療施設に従事するその他の主な 医療スタッフの数(常勤換算)の県全域・全国平均 との比較	50	68	85	102	119	136	153	170	187	204
	図表52	各構想区域の介護保険施設、グループホーム、 特定施設、地域密着型特定施設の整備状況	51	69	86	103	120	137	154	171	188	205
	図表53	各構想区域の養護老人ホーム、軽費老人ホーム、 有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け 住宅の整備状況	51	69	86	103	120	137	154	171	188	205
	図表54	各構想区域の医療需要の推計結果 (医療機関所在地ベース)	52	70	87	104	121	138	155	172	189	206
	図表55	各構想区域の病床数の必要量の推計結果	52	70	87	104	121	138	155	172	189	206
	図表56	各構想区域の県独自病床数推計の結果	53	71	88	105	122	139	156	173	190	207
	図表57	各構想区域の推計Ⅱによる県独自病床数推計	53	71	88	105	122	139	156	173	190	207
	図表58	各構想区域の病床数の必要量・県独自病床数 推計と2015年度病床機能報告の報告病床数の 比較	54	72	89	106	123	140	157	174	191	208
	図表59	各構想区域の5疾病に係る拠点病院及び 地域医療支援病院(平成28年10月末現在)	55	73	90	107	124	141	158	175	192	209
	図表60	各構想区域の5事業に係る拠点病院 (平成28年10月末現在)	55	73	90	107	124	141	158	175	192	209
	図表61	各構想区域の病床稼働率	56	73	90	107	125	141	158	175	192	210
	図表62	各構想区域の平均在院日数	56	73	91	108	125	141	158	176	192	210
	図表63	各構想区域の許可病床数に対する稼働病床数 の割合	56	74	91	108	125	142	159	176	193	210
	図表64	各構想区域における病床の機能分化・連携の 推進に必要な取組み	57	74	91	108	125	142	159	176	193	210
図表65	各構想区域における在宅医療等の必要量と その内訳	58	75	92	109	126	143	160	177	194	211	
図表66	各構想区域における長期療養が必要となった 場合に過ごしたい場所	58	75	92	109	126	143	160	177	194	211	
図表67	各構想区域における終末期に療養生活を送りたい 場所	59	76	93	110	127	144	161	178	195	212	
図表68	各構想区域における死亡の場所の推移	59	76	93	110	127	144	161	178	195	212	
図表69	各構想区域における在宅医療の充実の推進に 必要な取組み	60	77	94	111	128	145	162	179	196	213	
図表70	各構想区域における医師・歯科医師・薬剤師・ 看護職員・その他の主な医療スタッフ(常勤換算) の数	61	78	95	112	129	146	163	180	197	214	

章	図表番号	図表タイトル	掲載頁
第6章	図表71	「くまもとメディカルネットワーク」の全体イメージ	217
	図表72	より良質な医療サービスを受けられる体制のイメージ	218
	図表73	地域リハビリテーションの推進体制	221
	図表74	熊本地震に伴う仮設住宅における復興リハビリ体制のイメージ	221
	図表75	熊本県での総合診療専門医養成システムの観点からの役割/位置づけ	223
	図表76	熊本県医療勤務環境改善支援センター	225
第7章	図表77	医療法に基づく都道府県知事の権限	229
	図表78	病棟単位で選択した病床機能と実際に入院している患者像の対応のイメージ	230